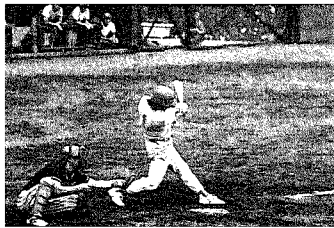


強豪桂町を敗り、境チーム初優勝！



勝敗を決めた白井勇一選手のひと振り

桂町打線を2点に抑えた白井武彦投手



第67回町別野球大会

今年で六十七回を迎えた伝統ある町別野球大会は、市内各地の精鋭二十九チームの参加により、八月一日、八日、十五日、二十二日の四日間にわたって開催されました。決勝戦は大会七連覇をねらう桂町チームと初の決勝進出を果たし勢いに乗る境チームとの東桂地区同士の対戦となりました。

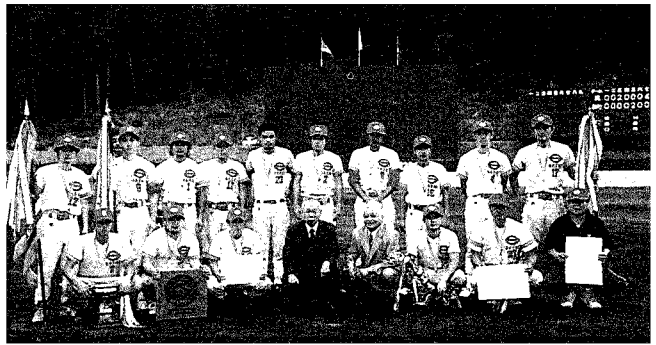
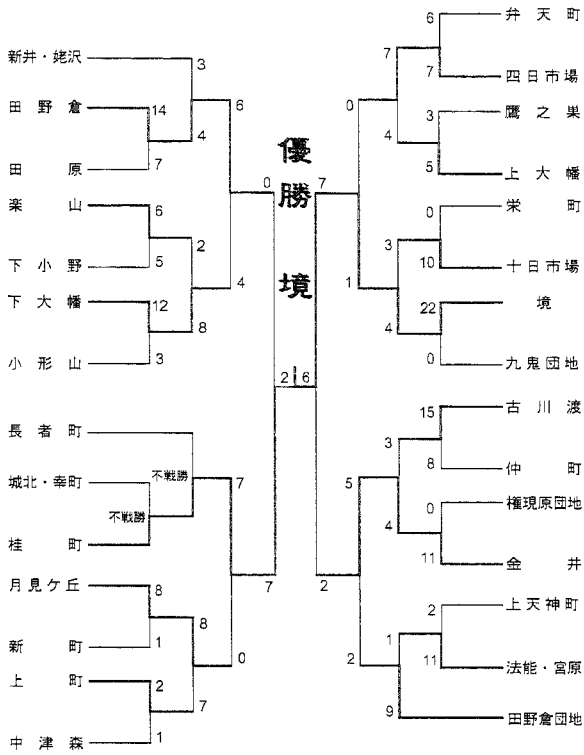
試合は、両チームとも好投手を擁し、決勝戦にふさわしい接戦の好ゲームとなりましたが、同点でむかえた最終回には、満塁ホームランで四点をとった境チームが、六対二で勝ち、初優勝を飾りました。

また、今大会は各チームの選手以外にも自治会、地域の方々の応援が多数あり、大会をいっそう盛り上げてくれました。

成績・各賞は次のとおりです。(敬称略)

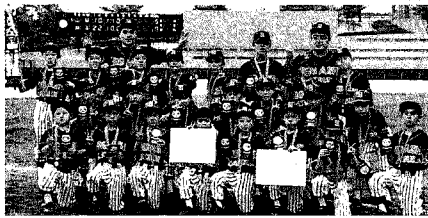
- 最優秀選手賞 白井勇一(境)
- 最優秀投手賞 白井武彦(境)
- 打撃賞 杉田慶太(境)
- 敢闘賞 落合 淳(桂町)

町別野球大会結果



優勝した境チームの選手たち

東桂少年野球チーム



嬉しい！

でもよく頑張った

関東大会準優勝

第二十二回関東学童軟式野球大会が、八月二十四日から三日間にわたって東京都で開催され、山梨県代表として、東桂少年野球チームが出場しました。

大会初日の一回戦で、群馬県第一代表チームに九対一のコールド勝ち、また二日目は、準々決勝で茨城県第一代表チームに六対二、準決勝でも栃木県第一代表チームを十対一とコールドで破り、三試合とも圧倒的な強さで決勝進出を果たしました。

最終日の決勝戦は、栃木県第二代表チームの天明クラブとの対戦。序盤はリズムにのれず、大量点を奪われ追う展開となりました。終盤には粘り、猛攻をみせ追い上げましたが、七対五で惜敗しました。

しかし、関東大会での準優勝は見事であり、東桂少年野球の選手達にとっても大会を通して得た経験は大きな財産となることでしょう。

桂高校ウエイトリフティング部



練習の様子

(写真右より)竹俣君と志村君

素晴らしい～ インターハイ優勝&4位入賞

八月に岩手県で行われた全国高校総合体育大会(インターハイ)の重量挙げで、県立桂高校三年の志村君が56キロ級で優勝、また同校三年の竹俣君が77キロ級で四位入賞を果たしました。

桂高校の重量挙げは、今年三月に部に昇格したばかりで、志村君はスナッチで95キロの大会新記録を達成し、ジャークでも一位となり完全優勝を成し遂げ、同部初の全国王者となりました。また、八月二十五日の日韓ユース大会に日本代表として出場し、韓国代表を17・5キロも上回る記録で敗り、見事優勝しました。一方、竹俣君は主将として部のまとめ役を担いつつ、全国選抜では準優勝するなどかなりの実力者で、今大会はスナッチで二位と全力を尽くしましたが、惜しくも総合4位で入賞となりました。

将来有望な二人に「今後の目標は？」とたずねると、二人ともオリンピック出場ですと力強く語ってくれました。